

令和3年10月20日

令和3年度 第2回 学校運営協議会

<運営協議会委員>

名 前	職 名
松 宮 新 吾	追手門学院大学教授
河原林 昌 樹	弁護士
橘 朋 伸	門真市立第二中学校長
三 村 泰 久	門真市立脇田小学校長
高 山 拓 也	門真市教育委員会
桐 山 千 明	門真なみはや高校PTA会長

<事務局>

瓜 生 彩子	教頭	桂 田 光	生徒指導部長
久 森 雅 代	事務長	松 村 尚 之	生徒会指導主任
宮 蘭 賢 二	首席・3学年主任	黒 田 いつみ	保健部長
山 村 裕 子	首席	藤 田 和比郎	総務部長
加 藤 勝 哉	教務部長	小 田 悟	2学年主任
野 村 明日香	進路部長	山 田 浩 二	1学年主任

<開催日時> 令和3年10月20日 14時15分～16時30分

<内容>

- 学校長挨拶
- 授業見学
- 議事

<審議事項>

- 1 令和3年度学校経営計画の進捗について
- 2 令和3年度学校経営計画の進捗について
- 3 教育活動に係る保護者からの意見について

<報告事項>

- 1 第1回授業アンケートについて
- 2 1人1台パソコン活用推進委員会について
- 3 その他

<授業見学の感想>

- ・実技科目が充実していた。生徒が「達成感」を持てるフィールド授業の実技科目での経験を、是非他の科目にも生かしていただきたい。
- ・毎回思うが、生徒が熱心に授業に取り組んでいる。英語はSDGsという今日的なテーマ。
- ・昔（委員ご自身が）受けた授業からかなり変わっており、進化している。
- ・音楽の授業で生徒が生き生きと歌っていたのがマスク越しにも感じられた。福祉の実技は今後必要であると思っている。
- ・（本日の実践は）同じく教科担任制である中学校でも応用できると思った。
- ・自分が興味を持ったものを学べるフィールドの授業がよい。
- ・

<審議事項>

○学校経営計画(進捗状況)について(第1号議案)

(報告)確かな学力の育成について

- ・授業改善の取り組みを進めている。職員会議の始まりの10分で、いい授業の取り組みを紹介してもらっている。成果指標の一つである、授業アンケートの評価はおおむね安定して高めである。

(報告)グローバル人材の育成について

- ・コロナ禍において、本年度も海外研修の実施は見送ったが、本年度は国内にいる留学生との交流プログラムを計画中。

Q1: 「2 確かな学力の育成について」の(1)新カリキュラム等の検討において、観点別評価の検討とあるが、具体的にどのように反映される予定か。

A1: 定期考査等のペーパーテストの点数(知識・技能)だけでなく、主体的に学びに向かっていく姿勢をどのような基準で評価するかを検討してきた。

Q2: 門真市は読書習慣の確立に努めている。図書室の整備などはどのように進めているか。

A2: 昨年度は1学年で「朝の5分読書」を行った。本年度も1年生の教室ピロティに1学年文庫を設置し、夏休みに課題を設定するなど取り組みをすすめている。

Q3: 「4 安全で安心な魅力ある学校づくり」の「課題のある(困り感のある)生徒」にあるような生徒は本校には実際にはいないのではないか。

A3: 発達障がいなど、周りにはわかってもらいにくい課題を持っている生徒はいる。そのような生徒に対して、「個別支援計画」を作成し、身の回りの整頓などのサポートをする体制をつくっている。

Q3: そのような生徒が気軽に相談できる場所はあるか。

A3: 保健室、身近な先生、学年の先生いずれに相談しても学校全体で対応できる。

➡ (第1号議案) 承認

<報告事項>

○第1回授業アンケート結果について

教科ごとの集計結果を提示。

○1人1台パソコン活用推進委員会について

府立高校生に1人1台端末が貸し出されたことにより、①授業での活用、②機種管理、③ルール整備や生徒支援の三つの柱で校内体制を組織した。

Q4: 委員会の取組みとして、リモート授業を実施した際に、家庭への配信に問題はなかったのか。

A4: リモート授業は、8月の臨時休業期間中に試験的に行った3年生物理の講習であり、限られた生徒数への配信であったが、問題は特になかった。生徒もすぐに接続できた。今後も各家庭のWi-Fi環境の把握は引き続きおこなう。

Q4: 授業見学の際、最近では生徒の机の上にスマホがある。ルールが変わったのか。

A4: 調べ学習でスマホの活用も認めている。

次回開催日時は、1月26日(水)または19日(水)で調整中